

令和3年3月議会

## 生活環境委員会 参考資料

- ・福岡市自転車活用推進計画策定に係る市民意見募集

市民意見募集における意見要旨と原案への対応について（案）

令和3年3月

道路下水道局

## ■意見要旨と対応

- 修正：意見の趣旨に基づく原案の修正を行うもの
- 原案どおり：意見の趣旨に基づく原案の修正を行わないもの
- 記載あり：意見の趣旨が原案に記載されているもの
- その他：参考意見や提案など

分類	No.	意見要旨	対応
<b>①計画策定の趣旨（3件）</b>			
	1	《自転車の将来像を見据えたビジョンを》 ○本計画の冒頭に、福岡市の自転車の将来像を見据えたビジョンをしかるべき市の立場の方の名前を添えて示してほしい。	原案どおり
	2	《SDGsの位置づけを》 ○「1. 計画策定の背景と目的」の中に、後述されているSDGs(特に脱炭素社会への取組)の位置づけを明確に記述しては。	記載あり
	3	《様々な視点から計画の作成を》 ○自転車は市民、特に学生にとって、なくてはならないものであり、その視点での計画立案が肝要。そうしたステップを踏まえて作成したことがわかる文言が必要。	記載あり
<b>②自転車利用の現状と課題（1件）</b>			
	4	《写真撮影場所の明示を》 ○P24の写真に場所等が明記されたら分かりやすい。	●修正
<b>③福岡市における自転車活用の方向性（3件）</b>			
	5	《今後の自転車行政について》 ○現在、コロナ禍の影響で自転車の利用者が増えているが、事故も増えているように感じており、安心して自転車に乗れるまちづくりのために何が必要なのかを考えるためにこの計画は大事である。	記載あり
	6	《今後の自転車行政について》 ○コロナ以降、自転車だけでなく、様々なことが変わってくると思われ、海外の事例も参考にし、自転車行政を根本から見直してほしい。	その他
	7	《海外の自転車施策を参考に》 ○アメリカ(ポートランド)では、自転車活用の行政施策(自転車専用道路、自転車地図、公共交通機関への自転車の持ち込み)が最先端であり、是非とも参考にしてほしい。	その他
<b>④各施策の具体的な取組み（62件）</b>			
<b>「はしる」自転車通行環境の創出(16件)</b>			
	8	《誰でも分かりやすい自転車通行空間の整備を》 ○自転車通行空間の整備形態が色々存在し、分かりにくい。将来的に統一し、自転車、歩行者にも分かりやすい形態にしてほしい。	記載あり
	9	《外国人にも分かりやすい注意喚起を》 ○車道の整備形態は、逆走禁止の表示や外国人にも分かりやすい表示など注意喚起をしっかりと明示するべき。	その他
	10	《安全で快適な通行空間の整備を》 ○「はしる」の基本方針として、安全で快適な通行環境づくりが設定されているが、現在整備されている車道内共存・車道混在の自転車通行空間は、自動車にひかれるリスクが高く感じられ、歩道を走行せざるを得ない。	原案どおり
	11	《停車車両について言及を》 ○車道を走行していても、路肩に自動車やバスなどが停車しており、停車車両についても言及するべきではないか。 ○違法駐車などの積極的な取締りは、停車車両を減らすことには繋がらないので、安全な通行環境づくりを目指すことができるとは考えられない。	記載あり
	12	《停車用の空間の検討を》 ○交通量の多い路線には、路肩とは別に停車用の空間を整備するべきである。整備の考え方の、「2)既存の路肩を活用し、自転車通行空間を整備」はせず、「3)道路構成の見直し」をすべきではないか。	原案どおり
	13	《自転車道の整備の推進を》 ○矢羽根など視覚的に良くわかり、ルール認知に一定の効果があるとみられますが、道路の構造を見直し、物理的に事故が起きにくい環境を整えることが求められており、欧米諸国では、車道・歩道の間に自転車道を設け、植栽などで完全に分離している道がある。土地や既存道路等の制約があるが、是非とも検討してほしい。	記載あり

- 修正：意見の趣旨に基づく原案の修正を行うもの
- 原案どおり：意見の趣旨に基づく原案の修正を行わないもの
- 記載あり：意見の趣旨が原案に記載されているもの
- その他：参考意見や提案など

分類	No.	意見要旨	対応
<b>④各施策の具体的な取組み（62件の続き）</b>			
<b>「はしる」自転車通行環境の創出（16件の続き）</b>			
	14	《物理的に分離した自転車通行空間の整備を》 ○交通量の多い車道敷地内に通行帯（青色表示）を設けているが交通量が多かったり、タクシー等が停車しており危険を感じ、歩道を走行している。今後の整備として、車道敷地内の走行区分帯だけでなく、工作物による走行路線の区分けを実施している区間を増やしてほしい。	記載あり
	15	《天神地区の自転車通行空間の検討を》 ○天神地区では、スピードの出し過ぎや交通ルールを無視した運転が増えて危険なので、自転車通行空間を整備してほしい。	記載あり
	16	《歩道の自転車通行可の規制撤廃を》 ○自転車通行帯、車道内共存、車道混在で自転車通行空間の整備を行った際でも、歩行者の安全を確保することを目的に、歩道の「自転車通行可」を撤廃し、歩道を歩行者専用とすることなどを検討してほしい。 ○優先整備路線については、全国的なモデルになるような自転車通行空間形成の推進を期待しています。	その他
	17	《違法駐車の解消を》 ○違法駐車の取締りは今後も継続してほしい。また、実際の駐車需要に応じて、路上駐車帯と自転車専用レーンが共存した事例を参考に、違法駐車の解消も検討してほしい。	記載あり
	18	《ビッグデータを活用したネットワーク検討を》 ○ビッグデータなどを活用した自転車通行空間ネットワークの検討であるが、スマートシティを目指す福岡らしい取組みと思うので、ぜひ積極的に推進してほしい。	記載あり
	19	《横断歩道での自転車と歩行者の共存について》 ○横断歩道が歩行者と自転車が混在している。前方を自転車専用待機スペース、その後ろに歩行者とするのはどうだろうか。	原案どおり
	20	《自転車を車道へ誘導する整備をすべきではない》 ○対歩行者事故が多いため、自転車の車道走行を促すという点に対して、車線の幅員を変更しないまま、自転車を車道へ誘導する整備（車道内共存・車道混在）は、これ以上行うべきでない。	原案どおり
	21	《自転車道の整備の推進を》 ○自転車道の整備を推奨します。道路の幅員に余裕がないのであれば、車道内共存・車道混在の整備ではなく、自動車交通量を抑制するか、中央分離帯に自転車道を整備するなど、より抜本的な施策が必要である。	記載あり
	22	《道路空間を活かし、走行しやすい自転車通行空間の整備を》 ○植栽帯は、緑あふれる街づくりの観点から重要と考えるが、壁面緑化を活用した代替等を検討いただき、自転車通行帯への空間再配分を検討してほしい。 ○自歩道を活用したルート整備においては、車道⇒歩道の段差が走行上の大きな障害となるため、極力なだらかな段差になるよう整備上の配慮をしていただきたい。	その他
	23	《公園での自転車走行について》 ○大濠公園など公園では、歩行者や子どもが優先であり、自転車が追い越す際は、十分なスペースを確保するべきである。	その他
<b>「とめる」駐輪環境の整備（21件）</b>			
	24	《需要に応じた駐輪場の整備を》 ○自転車を推進していこうとしているが、駐輪場の数が少ない。駐輪場は市街地中心部が駅周辺にしかないので、大小の駐輪場を市内に分散し、増設してほしい。	●修正
	25	《需要に応じた駐輪場の整備を》 ○赤坂エリアの駐輪場が不足している。	●修正
	26	《需要に応じた駐輪場の整備を》 ○天神・赤坂地区周辺では駐輪場の絶対数が足りていない。	●修正
	27	《老朽化した駐輪機器の更新を》 ○駐輪機器が老朽化してきているので、新しい機器を導入してほしい。	記載あり
	28	《老朽化した駐輪機器の更新を》 ○駐輪機器が老朽化してきているので、新しい機器を導入してほしい。	記載あり

- 修正：意見の趣旨に基づく原案の修正を行うもの
- 原案どおり：意見の趣旨に基づく原案の修正を行わないもの
- 記載あり：意見の趣旨が原案に記載されているもの
- その他：参考意見や提案など

分類	No.	意見要旨	対応
<b>④各施策の具体的な取組み（62件の続き）</b>			
<b>「とめる」駐輪環境の整備（21件の続き）</b>			
	29	《通行を阻害している路上駐輪場の撤去を》 ○西新では、歩行者の通行の邪魔になっている路上駐輪場を見かける。	記載あり
	30	《官民が連携して駐輪場の確保を》 ○駐輪場施設を市だけで整備するのではなく、行政の負担を軽減するために民間による整備を促進すべき。民間駐輪場の整備促進において、整備しても近くの市営駐輪場の方が安い(一律1日100円)ため、民間による整備が進みにくい原因となっているように感じる。	記載あり
	31	《駐輪場施設の利用者負担の検討を》 ○駐輪場施設整備にかかる費用を利用者に求めることに異議を唱える人は少ないと思うので、駐輪場施設の利用者負担のあり方は議論と検討をすすめてほしい。	その他
	32	《キャッシュレス決済の導入を》 ○民間の駐輪場についても、キャッシュレス化に対応した精算機を導入すべき。	●修正
	33	《利用しやすい民間駐輪場について》 ○同一エリア内で利用料金が統一されていると、停める場所選びに気を使わなくて済むのでよい。市が必要に応じて補填等しながら、駐輪料金を統一していただけるとありがたい。	原案どおり
	34	《駐輪場の視認性向上を》 ○利用率が低い駐輪場については、視認性の向上、延いては知名度の向上に努めるべき。	記載あり
	35	《分かりやすい案内サイン設置を》 ○駐輪場の案内サインについて、自転車走行中に気づきにくく、素通りしてしまうことがある。視認性を高める工夫をしてほしい。	記載あり
	36	《様々な自転車に対応した駐輪スペースを》 ○ミニベロは駐輪機の左右方向の支えにスポークが強く干渉し傷つきやすい面があり、きらめき駐輪場のようなミニベロ専用の駐輪機を増やしてほしい。	記載あり
	37	《様々な自転車に対応した駐輪スペースを》 ○子乗せ電動アシスト自転車やロードバイクなどの駐輪スペースが少ない。	記載あり
	38	《様々な自転車に対応した駐輪スペースを》 ○道路交通法上の「普通自転車」以外の規格の自転車も海外では、多く乗られるようになっているので、今後も多様なニーズに対応できる駐輪施設の整備を進めてほしい。	記載あり
	39	《様々な自転車に対応した駐輪スペースを》 ○子乗せ自転車や荷台付きバイクなどの専用スペースを拡げて欲しい。	記載あり
	40	《高齢者専用スペースの確保を》 ○出入口に近い場所に高齢者専用スペースを設けてほしい。	●修正
	41	《安全に配慮した駐輪スペースを》 ○自転車道に沿った駐輪場(例えば大正通り西側のお堀沿いの駐輪場)などで、自転車の子乗せタイプの座席が駐輪スペースからはみ出て、すれ違う際に危険を感じるのももう少しスペースを確保してほしい。	記載あり
	42	《短時間無料化の拡大を》 ○駐輪場利用促進の為、短時間の無料化を増やしてほしい。	記載あり
	43	《文言の修正》 ○「短時間利用の無料化や、～様々な利用状況に応じた料金設定に向けた取り組みを進めます」の文章は、料金と営業時間の話は分けるべき。	●修正
	44	《キャッシュレス決済の導入を》 ○キャッシュレス化が進んでおり、現金のみの精算機は取り換えるべきである。	記載あり

- 修正：意見の趣旨に基づく原案の修正を行うもの
- 原案どおり：意見の趣旨に基づく原案の修正を行わないもの
- 記載あり：意見の趣旨が原案に記載されているもの
- その他：参考意見や提案など

分類	No.	意見要旨	対応
<b>④各施策の具体的な取組み（62件の続き）</b>			
<b>「まもる」自転車利用の適正化（15件）</b>			
	45	《学校における自転車安全利用の学習について》 ○子どもに対する安全教育は重要であり、「自転車は、道路交通法上、軽車両扱いになること」「幼児に衝突した場合など、重大な罪を負う可能性があること」など、加害者意識の教育も徹底していただきたい。	記載あり
	46	《取締りや啓発の強化を》 ○自転車は車道走行が原則であり、歩道走行している自転車の取締り強化やチラシ配布などの啓発をしてほしい。	記載あり
	47	《企業・学校等の単位で指導や啓発を》 ○自転車の走行ルールやマナーに関して、個人に対して教育だけでなく、企業・組織・学校等を通じて呼びかけしてほしい。また、罰則適用が無理ならイエローカード、レッドカード等で、違反を厳しく摘発してほしい。 ○規制やルールは、なぜ守らなければならないのか、理由を明確にしたうえで啓発すれば実効性があるのではないか。	記載あり
	48	《自転車利用者へ啓発強化を》 ○歩道は、歩行者が優先であることを継続的かつ実効性がある形で啓発してほしい。例えば、歩道に歩行者優先のマークの掲示や自転車の速度制限などが良いのでは。	その他
	49	《外国人へのルール等の周知を》 ○最近、外国人がよく自転車を利用しており、外国と日本の自転車の習慣が違うことから、ルール、マナーの周知徹底をお願いしたい。	記載あり
	50	《歩道上で発生する事故について》 ○自転車事故は全体として減少傾向であるが、対歩行者の事故割合は増加しており、事故の発生が歩道上で多くなっている。自転車は車道を通行するべきであるが、一部の道路では「歩道の車道側を徐行する」こととなっているが、このルールの認知不足が自転車側だけでなく、歩行者側にもあるのでは。	その他
	51	《新たな利用者ヘルールの啓発を》 ○新しい自転車の使われ方として、宅配代行サービスやシェアサイクルなどが普及しており、その利用者達への走行マナーの意識向上や交通ルールの遵守は、大変重要な課題である。また、行政（自治体・交通管理者）だけでなく、まちづくり団体やNPO法人などと共働して取り組んでいくことで、実現が可能になると思う。	記載あり
	52	《走行ルールの認知度が低いのでは》 ○自転車は手軽に移動できる乗物である感覚が強く、「ルールを守る」以前にそもそも「ルールを知らない」事が問題であるのでは。	記載あり
	53	《走行マナーの向上で住みやすいまちづくりを》 ○自転車利用者は今後増え続けると思いき、自転車通行空間などの環境整備と同時に走行マナーやルールを再認識させることで、事故も減少し、より良い住みやすい環境づくりも出来るのでは。	記載あり
	54	《走行マナーが悪い》 ○自転車の逆走が多く、狭い道路でもスピードを落とさずに走行している自転車が見受けられ、走行マナーが悪い。	記載あり
	55	《自転車利用者への啓発強化を》 ○走行ルールを守っていないのは主に大人であり、年齢性別問わず、危険な運転をしている。特に運転免許を持っていない（交通ルールを学校以外で学んだことがない）方の自転車運転は危険運転に繋がると推測し、効果的・現実的啓発のためにターゲット設定をしっかりと行うべき。	記載あり
	56	《自転車利用者への啓発強化を》 ○車道を逆走する自転車に遭遇し危険な思いをすることがあるため、啓発の強化をしてほしい。	記載あり
	57	《自転車利用者への啓発強化を》 ○市民の自転車利用者へ交通ルールや走行時のマナー等に関して、行政によるTV宣伝のPR活動を行うべき。	その他
	58	《街頭指導員について》 ○街頭指導員の姿を見かけるが、何も活動していないように感じており、注意喚起できる権限がないからなのか。	記載あり
	59	《放置自転車の処分費や返還率向上について》 ○指定店による再販売や途上国への供与など、環境配慮に関する3Rでいうリユース・リサイクルについてすでにいろいろな対応が進んでいる。将来の処分費用の一部を前納する仕組みを入れ込んではどうか？購入者としては、購入価格が上がるので少しは放置する意識が減ることが考えられる。また、防犯登録と同じく前納した証のシールを貼るようにし、手続き時の情報から所有者を特定できるようにしておけば、放置意識の低減、返還率の向上にも寄与すると思われる。更にここで得た資金を自転車に関連する経費に充当することができれば理想的である。	その他

- 修正：意見の趣旨に基づく原案の修正を行うもの
- 原案どおり：意見の趣旨に基づく原案の修正を行わないもの
- 記載あり：意見の趣旨が原案に記載されているもの
- その他：参考意見や提案など

分類	No.	意見要旨	対応
<b>④各施策の具体的な取組み（62件の続き）</b>			
<b>「いかす」自転車の活用（10件）</b>			
	60	《サイクルトレインの導入の検討を》 ○サイクルツーリズムの取組みは大変良いと思うが、一般の人が自宅から目的地まで自転車に乗っていくのはハードルが高い。海外のように自転車を鉄道に載せることができれば、活動範囲が広がるのではないかと。	その他
	61	《自転車が安全に通行できる環境づくりを》 ○勝馬志賀島線は、観光目的のレンタサイクル利用者やサイクリストなどが潮見公園に立ち寄るためのルートであり、安全に通行できる環境づくりをしてほしい。 ○志賀島和白線（海の中道付近）は、サイクリング利用者が多い区間であり、自動車のスピードも速いため、サイクリング利用者にとってはやや危険な区間なので、安全に通行できる環境づくりをしてほしい。	記載あり
	62	《自転車が安全に走行できる環境づくりを》 ○愛媛県では、歩行者、自転車、自動車等がお互いの立場を思いやる気持ちの基本として道路を安全に共有することを目的に「シェア・ザ・ロード」に取り組みされており、幅員が十分でない道路などでは特に大切な考え方であることから、福岡市でも参考にすべき。	その他
	63	《路面の安全性の確保を》 ○山間部や海に近いエリアでは、荒天の後に路面環境が悪化していることが多くみられ、環境づくりで「路面の安全性の確保」にも取り組んでほしい。	●修正
	64	《ソフト面（ガイドツアー）の充実を》 ○「サイクリスト誘客」には受入環境の整備が重要ですが、ハード面だけでなく、体験コンテンツ等のソフト面の充実も重要であり、1つの例示として、「ガイドツアーの充実」を計画に盛り込めないか。	その他
	65	《ICTを活用した予約システムの検討を》 ○市営渡船に自転車を載せることができるが、事前予約ができない状況である。自転車を使って「都心部～渡船～志賀島・うみなか」の移動がスムーズにできるよう、ICTを活用した予約システムを検討してほしい。	記載あり
	66	《サイクルツーリズムを推進し、マナー向上を》 ○市民の自転車活用推進計画への関心を高めるために、サイクルツーリズムの推進は効果的であり、多くの市民の方が参加できるような広域サイクリングロードを活かしたイベントなどを実施することで関心が高まり、その結果、自転車マナー向上に資するのでは。	その他
	67	《福岡トライアスロンの参加対象年齢拡大を》 ○自転車文化、スポーツ文化の発展のため、福岡トライアスロンの参加対象年齢拡大を検討してほしい。	その他
	68	《自転車を活用した健康づくりを》 ○高齢者の健康寿命を延ばしたり、若年層の生活習慣病予防などを自転車の活用で効果をあげることができ、かつ社会保障費の縮減にもつながることから、福岡100などの施策と共同でより推進してほしい。	その他
	69	《子乗せができるシェアサイクル導入を》 ○子乗せキャリア付きのシェアサイクルがあると、公共交通を主体としたお出かけがもっと便利になるので、推進していただきたい。	その他
<b>⑤計画の推進（1件）</b>			
	70	《計画的な進捗管理を》 ○PDCAサイクル実施にあたり、年度ごとに具体的にどのような取組みを行い、その進捗についてできる限り公表してほしい。また、福岡市自転車活用推進計画検討委員会について、計画策定で解散するのではなく、検討委員会から推進委員会などとして継続して審議や議論を行い、その議事録を公表してほしい。	その他
<b>⑥その他（3件）</b>			
	71	《電動キックボードについて》 ○最近、電動キックボードなどの新種が多くなっているが、このままだと、自転車と同じように歩道を走行するのでは。	その他
	72	《道路整備について》 ○福岡タワー前から東へ車道の側溝工事が行われており、その工事で段差が発生しており、緑石部を通過する際、私の使用している簡易型電動車いすではショックが大きくなり、危険な状況が発生した。自転車だけでなく、視覚障害の皆さまと車いすユーザー等が共生できる安心して安全に通れる理想的な道路環境の整備をしてほしい。	その他
	73	《国際会議（velocity2024）の誘致を》 ○市民の自転車活用推進計画への関心を高めるきっかけとして、velocity2024などの世界の自転車推進団体の国際会議の誘致も一考ではないかと。	その他